

# << 北品川禁煙通信 >>

第22号：飲食店における禁煙について考える

◇ 飲み屋は喫煙天国、受動喫煙地獄



(Eimee のお気軽 Dinks (転職活動中) の blog より)

飲食店での全面禁煙が全世界的に進んでいます。理由は、受動喫煙の健康被害を防止するためです。喫煙による喫煙者自身の健康被害は言うに及ばず、その周囲にいる人の健康被害つまり受動喫煙の有害性はいまや科学的に証明されており、世界保健機構 (WHO) のリーダーシップのもと世界各国でその対策に取り組んでいます。

お昼のランチ時、入ろうとするお店が禁煙かどうかを皆さんはどの程度意識していますか？ 最近では、店の入り口に『全面禁煙』あるいは『分煙』などの表示があるところも多いため選びやすくなっていますが、それでもタバコの煙を避けようとするとか

り苦労しますよね。完全禁煙でない分煙のお店などでは「喫煙席が空いていますがどうしますか」などと言われると急いでいる場合は妥協してしまうこともあるのではないのでしょうか。

では夜はどうでしょう。仕事帰りに仲間と一杯という事になれば飲み屋に行くことになりませんが、こうしたアルコールを供するお店はほぼ100%喫煙可です。タバコを吸わない人は我慢するしかありません。これは非常に問題です。付き合いが優先され、タバコを吸わない人にとっては受動喫煙の健康被害を回避する手段がないからです。喫煙者にとってみれば、酒とタバコは切り離せないと考えているのでしょうか、それはこれまでの悪しき伝統・習慣であり世界は今やこうした考えを捨てつつあります。欧米の酒場の代表格である英国のアイリッシュパブでさえ現在では全面禁煙です。公共の場で酒を飲むときには非喫煙者に受動喫煙の健康被害を我慢させるのではなく、少しの間喫煙者が遠慮しようという考え方です。日本ではこうした動きに対してタバコ産業の息のかかったタレントもどきの科学者や大学教授たちが「禁煙ファシズムだ」とか「喫煙者いじめだ」などとマスコミで吠えています、全くの的外れな利己的な言動と言わざるを得ません。

飲食店を全面禁煙にしなければならないもう一つの理由は、従業員の受動喫煙からの保護 (職場における受動喫煙の防止) にあります。我々の意識はついお客さんに行きがちですが、お店で働く従業員のことを忘れてはなりません。彼らは常に客のそばにいたために受動喫煙の健康被害を被ることになります。あなたのお子さんがバイトで飲み屋に勤めるとして、彼(彼女)がたかさんのタバコ煙にさらされていても

平気でいられますか？たとえ分煙でも、店員は喫煙スペースに入ってサービスをしなければならず、結局は分煙も受動喫煙の健康被害を防げないということなのです。WHO が全面禁煙以外は認めていない理由はここにあります。「完全な分煙」などはありえないのです。

誤解のないように申し上げますが、私は喫煙者にタバコを吸うなと言っているわけではありません。タバコを吸うことは自分の意志ですのでリスクを承知の上で吸うのは構わないのです。しかし、喫煙する自由とはどこでも吸ってよいという事ではなく、その煙を他人に吸わせない義務を負うという事を理解して頂きたいのです。ですから、公共の閉鎖された室内空間や路上などでは喫煙をしないで頂きたいし、たとえ家庭内でも未成年をはじめとする家族の健康を気遣う注意が必要なのです。子供の目の前で喫煙したり、喫煙コーナーに子供を連れて行くことは虐待にあたります。子供を乗せた車内で喫煙することも極めて危険な行為と言えます。

2020 年、東京ではオリンピックが開催されます。前号でお話したように、オリンピックの開催都市には受動喫煙防止法が必須です。いよいよ日本もこれを機に欧米並みの罰則付きの法的規制が施行されようとしています。

「酒を飲みながらの喫煙は当然」と考えている方は考えを改める必要があります。美味しい食事やお酒にはタバコは必要ありません。もし、どうしても吸いたいのであればその後に、誰もいない所でお願いします。

「こうもタバコが吸える場所が減ってはいじめられているのと同じだ」

「禁煙ファシズムもいいかげんにしろ」

と喫煙者 - といっても専ら日本たばこ産業 (JT) の御用学者やお抱えタレントですが - は言いますが、今までの喫煙者のマナーが悪すぎたのです。非喫煙者が受動喫煙の健康被害にどれだけさらされ・しいたげられてきたかを喫煙者の皆さんは考えてみる必要があります。

飲食店組合の人たちは全面禁煙にすると客が遠のくと思っっていると思います。それは、中途半端な禁煙条例が原因です。例外なく、すべての飲食店で室内禁煙とすればもはや不公平はなくなります。事実、欧米ではこうした条例の施行後も飲食店の売り上げは減らず、むしろ増えたところもあるくらいです。

たとえ喫煙者であっても、美味しい料理とお酒を楽しむときはタバコをほんの少しの間我慢してみることをお勧めします。すると、今まではニコチンにかき消されてしまっていた料理本来の味わいとお酒の旨味がきつと増すに違いありません。

まだタバコの味も知らない幼い頃、お母さんのつくってくれたご飯を食べてお腹いっぱいになったあの幸せな感覚を思い出してください。タバコを覚えたがためにせっかく美味しい料理を食べても最後に一服しないと何となく落ち着かないというのはいったいどうしたことなのでしょう？ もう一度、あの子供の頃の幸せな感覚を思い出してみませんか？ そうしたら、意外とあっさり禁煙できてしまうかも……

最後には『禁煙外来』という手段もあることをどうぞお忘れなく。